

県の認知症施策推進行動計画が改訂されました！！（その2）

5月号では、県の「認知症施策推進行動計画」の4つの施策の柱のうち、2つの取組みを紹介しました。今回は、残り2つの取組みについてお知らせいたします。

まず、1つ目は「医療と介護分野の対応力強化」です。

地域の関係機関が連携し、認知症の人や認知症の疑いがある人の早期発見・早期対応が重要です。県では、認知症の容態の変化に応じ、医療・介護のサービスが切れ目なく提供されるよう、研修を開催し、医療従事者・介護職員の認知症対応力向上を図るとともに、認知症ケアパスの普及拡大等、医療・介護などの多職種連携による支援体制の強化に取り組んでまいります。

2つ目は、「認知症の人と家族にやさしい共生地域づくり」です。

認知症の人と家族にやさしい地域を作っていくため、認知症カフェをはじめとした様々な社会資源や関係機関等の協力を得て、支援体制を構築していく必要があります。本県には、全市町村に「認知症カフェ」が設置されています。現在、新型コロナウイルスの影響により、開催を見送っているカフェもありますが、御本人や御家族が気軽に相談できる場を絶やさずに活動を行っていただきたいと考えております。

2回にわたって、県の「認知症施策推進行動計画」についてお知らせしましたが、お伝えした内容はごく一部になります。本計画は、県のHPに掲載していますので、ぜひ御覧ください。これからの認知症施策の展開には、カフェの皆さんの御協力が不可欠です。地域一体となって県内の「オレンジの輪」を大きく広げてまいりましょう。

さくらんぼカフェより

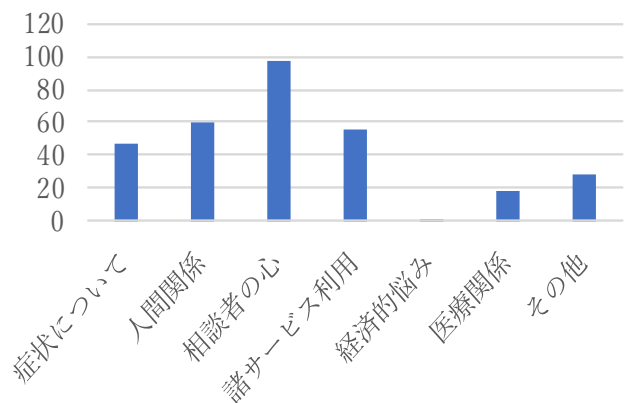
さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

今年度の相談内容より～「話したい」という「思い」感じます～

先月、ある認知症カフェの運営担当のお二人が、カフェ開催が難しいため、利用者さんからの電話相談を受けることになり、さくらんぼカフェを来訪されました。どのように相談を受けたらよいか、どのような相談が多いか等の質問、これから始めるにあたっての不安など話されていかれました。

これをきっかけに、今後のさくらんぼカフェでの相談内容を振り返り、右のグラフにまとめてみました。最も多かったのは「相談者の心」という内容で、これは昨年度全体の集計と同様でした。認知症の方に寄り添っている方々が、いかに自分の気持ちをきちんと「話したい」「聞いてもらいたい」と思っているかを、あらためて感じた次第です。

さくらんぼカフェ相談内容
～令和3年4月から6月まで～



※9月は「アルツハイマー月間」です。これにちなんだ取り組みなどご検討されているカフェ等ありましたら情報提供お願いします。

寒河江市社会福祉協議会の取組

社会福祉法人 寒河江市社会福祉協議会 事務局長 安達 徹

寒河江市社会福祉協議会では、初期症状対応「認知症疑似体験プログラム」を昨年秋に制作し、地域で見守りをしている方々の研修会で採用されました。より充実した内容になるよう改善を行いますので、ぜひご用命ください。

本会が取り組んだきっかけは「近所のばあちゃんへの声掛け」、隣人として何かしたいという気持ちに応えることでした。一人暮らしの高齢者世帯等が多くなり、初期症状のサインを見つけられる人が少なくなっている現状があります。本人や家族の皆さんの周りに住む方や自分のことも心配になりつつある高齢の方の思いがあります。ちょっと心配だと思える関係の中で、「一緒にできる」期間が長くなるよう支援したいと考えています。

一方、実際の困りごとや教えて頂きたい経験談を当事者の方々やその方に寄り添っている方々が

多く持っているのではないのでしょうか。そうした皆さんの情報と地域の思いを意見交換し、地域の中でどういった活動ができるのか、話し合えたらと思っています。そのことが、認知症の理解と、関わる人自身の将来への不安軽減にもつながり、また、現在関心の薄い方への関心を誘うメッセージになればと考えています。

本会では、この3月に策定した第3次寒河江市地域福祉活動計画に、地域での現状調査と、連携を超えた新しい活動を推進することを掲げました。特に、外出を伴う運動の効果と活用方法を、理論、技術の面から整理し、いろんな分野の方と共に活動できないか検討しています。ぜひ、皆様のご意見をお寄せください。

これまでの縁を大切に、活動ができ、ネットワークを広げるよう努力しますので、よろしく願います。

インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

～認知症の方を支えるために～

「地域で訪問看護ができること」

「一般社団法人全国訪問看護事業協会」により、上記タイトルのパンフレットが作成されました。

訪問看護師さんの関わった3つの事例を通して「認知症の方に訪問看護師」ができることのポイントを分かりやすく説明した内容です。

[r2-2-2.pdf \(zenhokan.or.jp\)](https://zenhokan.or.jp/r2-2-2.pdf)

上の URL か、協会のホームページ「調査研究」ページでダウンロード可能です。

認知症の人からのメッセージ動画「希望の道」

山形県在住の及川昌秀さんより厚生労働省「希望の道～認知症とともに生きる～」という認知症の方ご本人のメッセージ動画出演にご協力頂きました。

動画は以下の QR コードにて厚生労働省のサイトに繋がります。

是非一度ご覧下さい。

動画は
こちらから自分から外に出て
人と話をするっていうのは楽しい。山形県
及川昌秀さん

全国の「動画紹介チラシ」は以下から。

[kibounomichi A4ol 3 \(mhlw.go.jp\)](https://kibounomichi.A4ol.3(mhlw.go.jp))

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ やまがた認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内) 電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼 12 時～午後 4 時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 E-mail kazokunokai@camel.plala.or.jp

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。